

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	3	学校名	西の京高等学校
----	---	-----	---------

1. 取組名 令和元年度課題研究 I ・地域フォーラム

2. 活動内容

(取組の概要)

六条小学校区自治連合会を中心とする関係諸機関、奈良市、奈良県などと連携しながら、地域の課題発見と検証、解決策の模索などを「課題研究」の活動として取り組み、「地域フォーラム」の場で「高校生からの提言」として研究成果の発表を行う。

(主な活動)

- (1) 大亀谷国有林の活用と整備：奈良森林管理事務所、赤膚町自治会などとの協働。
- (2) 「ひまわり隊」の活動：六条小学校区自治連合会との連携。
- (3) 防災・防犯活動の課題：六条小学校区自主防災・防犯会との連携。
- (4) 観光イベントの活性化：NPO法人なら燈花会の会との連携・協働。
- (5) 地域フォーラムの開催：「課題研究」の成果を地域の方々の参加のもとに発表。

- ① 地域の課題を研究対象に、本校の2年生が「課題研究」に取り組み、その成果発表会を『地域フォーラム』と題して本校体育館を会場に開催。
- ② 『地域フォーラム』には、地元六条小学校区の住民の方々を中心に、約100名の参加者があり、生徒たちの発表に対して「質疑応答」も行う。



「地域フォーラム」発表の様子

3. 成果と課題

「課題研究」では、数年前から「活動の継続性」を重視して地域との連携の強化を図ってきた。上記(1)～(4)の4つの活動は、継続的な活動により内容が深化し、地域の理解と協力を得ている事業である。質疑応答では、地域活動に対するお礼の言葉や、今後の発展的な活動へのアドバイスなども多く、地域との連携を実感している。

生徒側は、高校に入って初めて取り組む内容である。指導者側は「継続性」を重視するが、生徒たちに「過去の蓄積」はない。質疑応答に備え、生徒たちの思考が浅い場合は、敢えて深い想定質問・回答を準備するよう指導した。結果として、地域フォーラム時での質疑に対し、柔軟な対応ができており、生徒たちの実践力が向上したように思う。しかし、地域との連携は一朝一夕にはできない。地道な活動の積み重ねと、地域への広報が必要である。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

新指導要領の「探究」学習に向け、地域との連携は重要である。今後も地域との協働に重きを置き、「つながり」を大切にしていきたい。今後はこうした活動を学校全体の取組にどう発展させていくかが課題である。すべての教員の意識が「地域との協働」「積極的な探究活動」へと変わることが必要だと考える。